

高校生がアイデア競う

ものづくり
プラン審査
島田商が特別賞

静岡理工科大(袋井市豊沢)と浜松市はこのほど、「高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト2021」(静岡新聞社・静岡放送後援)の最終審査会をオンラインで開催した。最優秀には市川高(千葉県)のプランが選ばれた。本県の島田商高は特別賞。

コスト、今後の展望などを盛り込んで説明。大学関係者や企業代表ら審査委員11人が独創性や実現可能性などをポイントに審査した。

川高の3人は、バスや電車内での手荷物問題の解決を目指し、つり革のポールに付け

て空間を効率良く活用する荷物フックのアイデアを発表。特別賞の島田商高は廃棄される栄養豊富な海藻アカモクに注目し、化粧品や塩などの商品開発を通じて地方創生に結びつけるプランを提案した。



オンラインで開催された高校生のプランコンテスト=袋井市豊沢の静岡理工科大

全国54校から597件の応募があり、書類審査を経て4校のグループ、個人が最終審査に臨んだ。生徒はアンケートや試作品制作などを通じて練り上げたプランについて、発案のきっかけや